

# インエクレスシアメント論

—— 提唱とその余波（2005～2017年） ——

多 田 哲

## はじめに

インエクレスシアメント (inecclesiamento) とは、ヨーロッパ中世の歴史学、考古学などで、頻繁に使用されている術語である。人口の特定地域への凝集化を説明づける理論の1つであり、2005年に M. Lauwers によって提唱された。その後10年以上が経過し、ヨーロッパ学界ではよく知られるようになった理論である。わが国では杉崎泰一郎が概説書のなかで、また向井伸哉が空間論との関連でインエクレスシアメントに言及している (杉崎2015: 93-94; 向井2015)。しかしそれを除けば、わが国の学界でこれに言及した研究は皆無と言ってもよい状況である。そこで本稿では、このインエクレスシアメント論提唱とその余波を、まずは速報として紹介したい。

## 1. Michel Lauwers

Lauwers が公的・私的な場で、インエクレスシアメントという術語を使いはじめた時期はよくわからないが、おそらく2000年ころであろう (Cursente 2001: 71; Méhu 2001; Lauwers 2004: 301-02)。しかし Lauwers がこの理論について詳述し、明確に提唱したのは『墓地の誕生－西洋中世における聖なる場と死者の地－』であった。すなわち聖なる場と墓地ゾーンを核とし、前者の生成と後者の神聖化が人口集中を誘発することを、インエクレスシアメントと名づけたのである。ここでいう聖なる場とは、聖職者によって聖別された空間のことであり、当初は祭壇に限定されていたものが、聖堂、さらには聖堂の建つ敷地全体にまで拡大された。そして敷地は何らかの防備を施されて、ほかと区分された。また墓地は古代において、居住区から離れた地域に存在していたが、中世に入ると聖堂周辺の区画に形成されるようになった。こうした墓地ゾーンもまた、聖別を通じて神聖化された。教会はこうして死者を管轄下に置く一方で、生者の社会的慣習への関与に努めた (2005: 269-74)。

Lauwers のインエクレスシアメント論に先行する、P. Toubert のインカステラメント論

(incastellamento, 1973年) や, R. Fossier の細胞生成論 (encellulement, 1982年) は, わが国でも比較的よく知られている (城戸1995; ユベール2010)。インエクレスシアメント論は, 従来のこれらに対する批判の延長線上にある。インカステラメント論と細胞生成論に共通するのは, 散居から集住への変化, 人口の特定地域への凝集化が, 比較的短期間で生じたとする主張である。それに対して Lauwers は最新の考古学の成果にもとづきつつ, こうした過程は中世を通じて, 場合によっては古代にさかのぼって, 緩慢で漸進的に推移したことを強調する。他方で, インカステラメント論と細胞生成論の最大の相違点は, 集住・人口定住化の物質的な核に対する考え方であった。前者では, ラティウム地方 (イタリア) をモデルに城塞を核とした集住が唱えられた。類似のケースがほかの地方でも検出された一方で, 西ヨーロッパ全体で見ると城塞による集住・定住化が見られない地域が広範に存在することも, 後に指摘されるようになった。インカステラメント論に対して細胞生成論は, 集住の核を特定せず, 城塞のほかに聖堂・墓地なども核になりうることを主張するものであった。しかしこうした相対化に対して Lauwers は, 聖堂・墓地といった聖なる場こそが, 中世を通じた集住の核であったことを強調した。このことが, インエクレスシアメントという命名につながったのである (Lauwers 2005; Lauwers 2010; Schneider 2010: 137; Iogna-Prat and others 2013: 315-38)。

インエクレスシアメント論はまた, 近年の人文・社会科学で生じた空間論的展開 (spatial turn) の影響下にある。空間論的展開は中世学にも多岐にわたる影響を与えたが, その1つが社会的空間の概念を発展させたことである。インエクレスシアメントは, まさに教会が社会的空間を創造していく過程であった。すなわち, この運動の1つの帰結として, 聖なる場を核とした空間が生産されていく。それは教区 (小教区) や, 修道院インムニタース領域という形をとるのである (Iogna-Prat and others 2013: 276; Zadora-Rio 2005; Cohen and Madeline 2014: 1-13)。

## 2. 専門研究

インエクレスシアメント論に対して, いち早く反応した教会史学者の1人が D. Iogna-Prat であった。彼はこの理論を, 封建社会における教会の正当な評価に寄与するものと考えているようである。とりわけインエクレスシアメントを, グレゴリウス改革が社会にもたらした刻印はどの程度であったかという問題と, 関連づけた。そして彼と É. Zadora-Rio は, インカステラメント・細胞生成・インエクレスシアメントと教区生成との関連性を主張した。また F. Mazel は, Iogna-Prat 2006 の議論を踏まえつつ, カロリング期から13世紀に至る教区生成のプロセスが, インエクレスシアメント論で説明できることを指摘した。地域研究としては M. Gendry が, ブルターニュ地方 (フランス) 特有の *minihi* と呼ばれる修道院領域が神聖化されていく過程に, インエクレスシアメントを見た。また A. Neyrinck はパリに所在する墓地を核にして, インエクレスシアメントが進行し

たことを明らかにした。そして L. Dorthe は、インカステラメントの後にインエクレスシアメントが生じている例をヴァレー地方（スイス）に見出した。他方で E. Mallorquí は、ジローナ司教区（スペイン・カタルーニャ地方）におけるインエクレスシアメントの発生を認め、その進行に対する抵抗感が存在したことも指摘した（Iogna-Prat 2006: 363-66; Iogna-Prat 2014; Iogna-Prat 2017; Iogna-Prat and Zadora-Rio 2005; Mazel 2017; Gendry 2010; Neyrinck 2014; Dorthe 2007: 95-97; Mallorquí 2011: 74）。社会史の立場からは、A. Boureau が国家なき中世世界における社会構造の新たな解釈の試みとして、インカステラメント論、細胞生成論とならんで、インエクレスシアメント論を位置づけた。また A. Le Coq は、カロリング帝国崩壊後の空間編成を理解するうえで、インカステラメントとならんでインエクレスシアメントの理論が有効であると述べ、後にインエクレスシアメント論に優位を認めた。他方で J. Morsel は、人口凝集化の理論としてのインエクレスシアメントを認めつつ、個人の定住地移動は活発だったとして、理論に留保をつけた（Bureau 2006: 186-88; Le Coq 2012; Le Coq 2015; Morsel 2009）。そして政治史の観点から F. Madeline は、アンジュー帝国における世俗権力とインエクレスシアメントの緊張関係を叙述した。また C. Garcia は、サンチョ大王時代のティエラ・デ・カンポス地方（スペイン）において、荒廃した地域の再建のために、意識的にインエクレスシアメントがおこなわれた形跡を見いだした（Madeline 2014: 103-21; Baron and others 2017: 77-89, 242）。思想史の分野では E. Bain が、ベーダの聖書注釈からインエクレスシアメントの観念を読み取った（2008）。そして農村史においては、L. Provero がインエクレスシアメント論を念頭において、ピエモンテ地方（イタリア）の教区と共同体の関係を解き明かそうとした。また R. Farinelli はトスカーナ地方（イタリア）において、インエクレスシアメントが初期中世に発生していることを認めた。そして N. Perreaux は、ヴィラの消滅・分裂が、インエクレスシアメントや細胞生成に対応していることを示唆した（Provero 2007: 35; Farinelli and others 2008; Perreaux 2016）。史料論としては P. Chastang が、12世紀ラングドック地方（フランス）の文書集における地名表記法の変化に注目した。彼はこの変化を、インエクレスシアメントとインカステラメントがともに作用した結果だと考えた（2007）。

中世考古学では、J. Bachelier がブルターニュ地方（フランス）で、C. Trouche-Marty がアルピジョワ地方（フランス）で、P. Papin らがトゥール近郊（フランス）において、M. D. López Pérez らがブルゴス近郊（スペイン）において、インエクレスシアメントの進行が認められる村落を指摘した。しかし Zadora-Rio はトゥーレーヌ地方（フランス）の領域形成を検討するなかで、インエクレスシアメント論に留保を加えている。彼女は、中世の長期にわたる人口集中の要因をインエクレスシアメントに求める妥当性を判断するには、現状の証拠では不十分であると見なしている。また前述のように、歴史的史料にもとづいて初期中世トスカーナ地方のインエクレスシアメントを肯定した Farinelli は、考古学的には証拠は十分でないと判断している（Bachelier 2014; Trouche-Marty 2015; Papin and others 2015; López Pérez, Álvaro Rueda, and Travé Allepuz 2016; Zadora-

Rio 2008: 67-72, 111, 265-67; Farinelli 2015)。他方で城郭考古学では M. Bourin が、ラングドック地方においてインエクレスiamメントとインカステラメントの同時並行を認め、H. Mouillebouche はブルゴーニュ地方（フランス）で、両者が交差する事例の存在を指摘した。また C. Citter はインカステラメントが検出されない城塞の事例をトスカーナ地方について指摘し、インエクレスiamメントの可能性を容認する（Bourin 2010; Mouillebouche 2009; Citter 2009: 211）。

学際的研究としては Y. Codou と Lauwers が考古学と歴史学の視点から、プロヴァンス地方（フランス）において、インカステラメントとインエクレスiamメントの双方を検出した（2008）。空間論の立場からは、高等教育関係中世史家学会（SHMES）主催の研究集会で、インエクレスiamメント論が注目された。なかでも Bourin と Zadora-Rio は、聖別の儀式が聖なる空間の領域を明示したことを重視し、神聖化と空間化は同時並行的過程であると述べた。また J.-C. Schmitt は、図像における空間表現の発展が、インエクレスiamメントに関係するという仮説を提示した。そしてこの集会の総括として J.-P. Devroey と Lauwers は、聖職者の理念にもとづいた表象空間である教区が実体化していくことを、インエクレスiamメントで説明した。一方で中世南フランス宗教史研究集会では、聖なる空間の創出そのものがテーマに掲げられ、Lauwers と Iogna-Prat を含む20名弱の研究者がこの問題に取り組んだ。すべての参加者がインエクレスiamメントの語を使用したわけではないが、南フランスにおけるこの運動のメカニズム解明を、一歩進めた共同研究であったと言えるだろう。個別の研究としては P. Nagy が、キリスト教社会は単一であるという脱領域性の理念に、聖なる場の現実における領域化であるインエクレスiamメントを対置させた（Le Jan 2007: 40-41, 338-46, 443-48; Théry 2011; Nagy 2005）。

### 3. 概説書・教科書

インエクレスiamメント論は、すでに教会史の概説書で言及されている。イギリスの権威ある『ケンブリッジ・キリスト教史』では、この理論に1節が割かれている。ここで強調されていることは、インエクレスiamメントの運動が9世紀にさかのぼること、そして教皇による聖なる場の創出が12世紀に1つの頂点に達したことであった。またスペインで刊行された『西洋中世の宗教史（313～1464年）』では、キリスト教的景観の形成や聖なる場の空間化を解説する節のなかで、これらの過程をインエクレスiamメントと称することを紹介している。そして『フランス・キリスト教史』は、農村教区の起源をインエクレスiamメントで説明している（Iogna-Prat 2008; Cortázar 2012: 161-65, 296-300; Mériaux 2014）。教会史以外の概説書に目を転ずると、『中世の貴族階級（5～15世紀）』では、10世紀後半以降に生ずる特定地域への人口凝集化の要因として、インカステラメントとインエクレスiamメントを併記しつつ、地域によっては後者が優勢であることを紹介している（Morsel 2004: 188-93）。また『中世・近代考古学の手引き』では、中世前期農村研究の史学史の

なかで、この理論を取り扱っている (Nissen-Jaubert 2012)。このように、インエクレスシアメントは、フランスを中心にイタリア・スペインでも、教会史を中心に社会史・考古学の分野でも、概説書のレベルで扱われるべき術語になっているようである。

そして大学生向けの教科書でも、インエクレスシアメント論の説明に1節が割かれているものがあることは、注目に値する (Buchholzer-Remy, Carraz, and Lemesle 2008: 127-28; Merdrignac 2009: 120-25)。この理論は、専門研究者の狭いサークル内でのみ話題にのぼるものではなく、すでになくなっていくと言えらる。

なお管見の限り、インエクレスシアメントの語を項目として採録した事典はまだない。ただし中世に関するオンライン事典の空間論に関する項目で、言及されている (Noizet 2012)。

#### 4. 書評・彙報

インエクレスシアメント論の周知に一役買ったのが、書評や彙報である。この理論を提唱した『墓地の誕生』(Lauwers 2005) については、『アナルル-歴史・社会科学』および『中世-言語・テクスト・歴史』掲載の書評を取り上げておく。これらではインエクレスシアメントを、教会による空間創出を示す新概念として評価している (Savy 2008; Portat 2006)。また Lauwers 以降の専門研究・概説書・教科書に対する書評・彙報でも、インエクレスシアメント論がとりわけ注目されている (Anheim 2008; Beck 2012; Boisselier 2016; Brix 2014; Combalbert 2010; Deswarte 2010; Iogna-Prat 2011; Iogna-Prat and others 2011; Lécivain 2017: 315-16; Mériaux 2008; Pérez-Embid 2013; Pichot 2011; Sère 2010; Wagner 2012)。

インエクレスシアメント論は、歴史学・社会学・中世学の分野で、そして歴史学のなかでも教会史・都市史・農村史・地方史において、フランスを中心に広く関心が集まっていることが見てとれる。

#### 5. 博士論文

インエクレスシアメント論の今後を占うために、若手研究者による博士論文に注目してみたい。教会史の分野では、E. G. Niblaeus が西・中央ヨーロッパにおけるインエクレスシアメント進行を前提とし、それが北ヨーロッパでも生じていることを主張した。また L. D. Rust の示唆によれば、11から13世紀において教皇権は、インエクレスシアメントと相克の関係にあった。すなわち統一的権威の確立を求める教皇は、地域的な教会権威の確立をインエクレスシアメントが促進することを恐れたというのである (Niblaeus 2010: 215-18, 230-31; Rust 2010)。思想史では C. R. Bovo が、ベトルス・ダミアヌスはインエクレスシアメントの功罪を認識していたと示唆した。すなわちベトル

スによると、教会による社会組織化が進むと救済の力が増す一方で、墮落やシモニアの罪は隠蔽される危険があるというのである(2012: 35)。農村史としては A. E. Marques が、インエクレスシアメント論を消化したうえでブラガ司教区(ポルトガル)における空間編成と集住を検証し、M. Bizri がヴレ司教区(フランス・オーヴェルニュ地方)におけるインエクレスシアメントの優越を認めた(Marques 2012; Bizri 2017: 53-54)。都市史としては J. Foltran が、オード地方(フランス)の複数の修道院プールの成立と発展を検討する際に、インエクレスシアメント論を参照している(2016: 67-69, 378-81)。

考古学研究の分野では A. Nicolier が、ブルゴーニュ地方南部でインエクレスシアメントが生じていたことを認め、ロマネスク時代の宗教的景観の形成を論じた。また A. Crosato はインエクレスシアメント論を意識しつつ、北イタリアにおいて、聖堂周辺での墓地ゾーン形成が、キリスト教化と並行して早期に生じていることを明らかにした(Nicolier 2015; Crosato 2008)。

社会学では、J.-F. Fortier が中世の空間化の歴史を分解化・凝集化・領域化の3段階に分け、そのうち凝集化に寄与した運動としてインカステラメントとインエクレスシアメントを同列に置いた(2016: 294-307)。

このように、インエクレスシアメント論の、あるいは同理論を念頭に置いた業績が、次々と産出されようとしている。

## おわりに

インエクレスシアメントは、ローマ・カトリック世界において、中世全般の長期にわたって緩やかに進行するものと考えられている。しかしながら、現在の研究で判明している成果には、時代的・地域的偏差が認められる。その原因の多くは、文字史料の残存状況や、発掘調査の進行度合いによるものである。ただし、本稿の調査範囲が、インエクレスシアメントの語を明示している成果に限定していることも、1つの要因であろう。インエクレスシアメントの概念で示される歴史的現象の一端は、Lauwers 以前から意識はされていた(アリエス1990: 5-50)。そうした現象を見出した数々の研究成果は、本稿では扱っていない。また Lauwers 以降でも、インエクレスシアメントで示されている現象に関心を持ちつつも、名称としては用いないものがある(Lauwers and Ripart 2007; Mouillebouche 2012)。そこには個別の事情があるのだろうが、判然としない。インエクレスシアメント論に関する完全な研究史を編むためには、こうした研究にも目を配る必要があるだろう。

インエクレスシアメント論の提唱は、学界に大きなインパクトを与え、10年強を経過した現在も、持続的な関心となっている。その関心は教会史・農村史・社会史・政治史・思想史といった歴史学界のみならず、考古学・社会学でも共有され、これらの学際的研究も珍しくない。国別の学界

で言えば、フランスが中心であるが、イタリア、スペイン、ポルトガル、イギリス、ベルギー、ドイツにも関心が広がり、さらにはヨーロッパを越えてカナダやブラジルでも注目されている。日本に視点を移せば、かつてインカステラメント論や細胞生成論がしばしば取り上げられた。しかし管見の限りでは、インエクレスイアメント自体に注意を払った研究は、まだ本格的にはじまっていけないようである。わが国の西洋中世学においても、インエクレスイアメント論に特別な注意を向ける必要があるだろう。

### 文献目録

- Anheim, Étienne. 2008. review of Iogna-Prat 2006, *Annales — Histoire, Sciences Sociales*, 63: 403–06
- Bachelier, Julien. 2014. 'Pour une approche croisée des sources: Analyses morphologiques, archéologie et sources écrites en Haute-Bretagne (XI<sup>e</sup>–XIII<sup>e</sup> siècles)', *Journée du CReAAH*: 29–32
- Bain, Emmanuel. 2008. 'Les marchands chassés du Temple, entre commentaires et usages sociaux', *Médiévales: Langues, Textes, Histoire*, 55: 53–74
- Baron, Nacima and others (eds). 2017. *Ériger et borner diocèses et principautés au Moyen Âge: Limites et frontières*, II, Histoire et civilisations (Villeneuve-d'Ascq: Presses Universitaires du Septentrion)
- Beck, Patrice. 2012. review of Bourin 2010, *Revue historique*, 661: 169–279
- Bizri, Mélinda. 2017. 'Construction et pratique sociale de l'espace fortifié en Velay (XIII<sup>e</sup>–XV<sup>e</sup> siècles)' (unpublished doctoral dissertation, University of Clermont Auvergne)
- Boisselier, Stéphane. 2016. review of Madeline 2014, *Annales de Bretagne et des Pays de l'Ouest*, 123.2: 179–82
- Boureau, Alain. 2006. La religion de l'État: *La construction de la République étatique dans le discours théologique de l'Occident médiéval (1250-1350)*, Histoire, 80; La raison scolastique, 1, 2nd edn (Paris: Belles Lettres)
- Bourin, Monique. 2010. 'Hiérarchie des castra et fonctions urbaines en Bas-Languedoc', in *Des villes à l'ombre des châteaux: Naissance et essor des agglomérations castrales en France au Moyen Âge: Actes du colloque de Vitry (16-17 octobre 2008)*, ed. by André Chédeville and Daniel Pichot, Collection 'Archéologie et Culture' (Rennes: Presses Universitaires de Rennes), pp. 207–14
- Bovo, Cláudia Regina. 2012. 'Em busca da *Renovatio* cristã: Simonia e institucionalidade eremítica na correspondência de Pedro Damiano (1041-1072)' (unpublished doctoral dissertation, University of Campinas)
- Brix, Antoine. 2014. review of Théry 2011, *Histoire urbaine*, 39: 172–74
- Buchholzer-Remy, Laurence, Damien Carraz, and Bruno Lemesle. 2008. *Pouvoirs, Église et société dans les royaumes de France, de Bourgogne et de Germanie de 888 aux premières années du XII<sup>e</sup> siècle*, Amphihistoire médiévale (Rosny-sous-Bois: Bréal)
- Chastang, Pierre. 2007. 'Du locus au territorium: Quelques remarques sur l'évolution des catégories en usage dans le classement des cartulaires méridionaux au XII<sup>e</sup> siècle', *Annales du Midi: Revue archéologique, historique et philologique de la France méridionale*, 119: 457–74
- Citter, Carlo (ed.). 2009. *Dieci anni di ricerca a Castel di Pietr: Edizione degli scavi, 1997-2007* (Borgo San Lorenzo: All'Insegna del Giglio)
- Codou, Yann, and Michel Lauwers. 2008. 'Castrum et ecclesia: Le château et l'église en Provence orientale au Moyen Âge', in *Archéologies transfrontalières Alpes du Sud, Côte d'Azur, Piémont et Ligurie: Bilan et perspectives de recherche*, Bulletin du Musée d'anthropologie préhistorique de Monaco, Supplément 1 (Monaco: Musée d'anthropologie préhistorique de Monaco), pp. 217–25
- Cohen, Meredith, and Fanny Madeline (eds). 2014. *Space in the Medieval West: Places, Territories, and Imagined Geographies* (London: Routledge)

- Combalbert, Grégory. 2010. review of Dorthe 2007, *Histoire & Sociétés Rurales*, 33: 213–64
- Cortázar, José Ángel García de. 2012. *Historia religiosa del Occidente medieval (Años 313-1464)*, Akal universitaria, 320; Serie Historia medieval (Madrid: Akal)
- Crosato, Alberto. 2008. 'All'origine dei cimiteri cristiani: Chiese e sepolture nell'Italia transpadana tra IV e IX secolo' (unpublished doctoral dissertation, University of Padova)
- Cursente, Benoît. 2001. 'Les villages dans l'Occident médiéval (IX<sup>e</sup>-XIV<sup>e</sup> siècle)', in *XX<sup>e</sup> Congrès international des Études byzantines, Collège de France–Sorbonne, 19–25 août 2001, pré-actes*, ed. by Comité d'organisation du XX<sup>e</sup> Congrès international des Études byzantines, 3 vols (Paris: Collège de France), 1: *Séances plénières*, pp. 63–72
- Deswarte, Thomas. 2010. review of Iogna-Prat 2006, *Cahiers de civilisation médiévale, X<sup>e</sup>-XII<sup>e</sup> siècles*, 53: 414–17
- Dorthe, Lionel. 2007. *Le berger et son troupeau: Prieurs et curés d'Agent en conflit (diocèse de Sion–15<sup>e</sup> siècle)* (Lausanne: Université de Lausanne)
- Farinelli, Roberto. 2015. 'Chiese battesimali e chiese minori nella Toscana dell'alto Medioevo: Verso un Atlante su base GIS', in *Congresso Nazionale di Archeologia Medievale, Palazzo Turrisi, Lecce, 9–12 settembre 2015*, ed. by Paul Arthur and Marco Leo Imperiale, Società degli Archeologi Medievisti Italiani, 7, 2 vols (Borgo San Lorenzo: All'Insegna del Giglio), II, pp. 107–11
- Farinelli, Roberto and others. 2008. 'Chiese e popolamento nella *Tuscia* dell'alto Medioevo: Un approccio quantitativo alla documentazione diplomatica altomedievale del monastero di S. Salvatore al Monte Amiata', in *Chiese e insediamenti nei secoli di formazione dei paesaggi medievali della Toscana (V-X secolo): Atti del seminario, San Giovanni d'Asso-Montisi, 10–11 novembre 2006*, ed. by Stefano Campana and others (Borgo San Lorenzo: All'Insegna del Giglio), pp. 297–336
- Foltran, Julien. 2016. 'Les monastères et l'espace urbain et périurbain médiéval en Pays d'Aude: Lagrasse, Alet et Caunes' (unpublished doctoral dissertation, University of Toulouse-Jean Jaurès)
- Fortier, Jean-François. 2016. 'D'une déterritorialisation à l'autre: Problématisation sociologique des concepts d'espace et de territoire' (unpublished doctoral dissertation, University of Quebec at Montreal)
- Gendry, Mickaël. 2010. 'Les minihis en Bretagne entre le IX<sup>e</sup> et le XII<sup>e</sup> siècle: Des territoires monastiques sacralisés?', *Annales de Bretagne et des Pays de l'Ouest*, 117.2: 25–55
- Iogna-Prat, Dominique. 2006. *La Maison Dieu: Une histoire monumentale de l'Église au Moyen Âge (v. 800–v. 1200)*, L'univers historique (Paris: Éditions du Seuil)
- Iogna-Prat, Dominique. 2008. 'Churches in the Landscape', in *The Cambridge History of Christianity*, 9 vols (Cambridge: Cambridge University Press, 2006–09), III: *Early Medieval Christianities, c. 600–c. 1100*, ed. by Thomas F. X. Noble and Julia M. H. Smith, pp. 363–79
- Iogna-Prat, Dominique. 2011. 'Cluny, le monachisme et la société au premier âge féodal (880–1050), Romainmôtier, 24-26 juin 2010 et Cluny, 9-11 septembre 2010', *Bulletin du centre d'études médiévales d'Auxerre*, 15: 139–68
- Iogna-Prat, Dominique. 2014. 'L'église, la ville et la morphologie de l'espace public (1200-1600): Une esquisse programmatique', in *Marquer la ville: Signes, traces, empreintes du pouvoir (XIII<sup>e</sup>-XVI<sup>e</sup> siècle): Actes de la conférence organisée à Rome en 2009 par le LAMOP en collaboration avec l'École française de Rome*, ed. by Patrick Boucheron and Jean-Philippe Genet, *Histoire ancienne et médiévale*, 124/8; Collection de l'École française de Rome, 485/8; Le pouvoir symbolique en occident (1300–1640), 8 (Paris: Publications de la Sorbonne; Rome: École française de Rome), pp. 127–62
- Iogna-Prat, Dominique. 2017. 'Sens et usages du territoire médiéval', *Annales — Histoire, Sciences Sociales* 72: 99–107
- Iogna-Prat, Dominique, and Élisabeth Zadora-Rio. 2005. 'Formation et transformations des territoires paroissiaux', *Médiévales: Langues, textes, histoire*, 49: 5–10
- Iogna-Prat, Dominique and others. 2011. 'Cluny, le monachisme et la société au premier âge féodal (880–1050), Romainmôtier, 24-26 juin 2010; Cluny, 9-11 septembre 2010', *Revue Mabillon*, n.s., 22: 303–16
- Iogna-Prat, Dominique and others (eds). 2013. *Cluny: Les moines et la société au premier âge féodal*, Collection 'Art & Société' (Rennes: Presses Universitaires de Rennes)

- Lauwers, Michel. 2004. 'De l'Église primitive aux lieux de culte: Autorité, lectures et usages du passé de l'Église dans l'Occident médiéval (IX<sup>e</sup>–XIII<sup>e</sup> siècle)', in *L'autorité du passé dans les sociétés médiévales*, ed. by Jean-Marie Sansterre, Collection de l'École française de Rome, 333 (Rome: École française de Rome), pp. 297–323
- Lauwers, Michel. 2005. *Naissance du cimetière: Lieux sacrés et terre des morts dans l'Occident médiéval*, Collection historique (Paris: Aubier)
- Lauwers, Michel. 2010. 'Circuit, cimetière, paroisse: À propos de l'ancrage ecclésial des sites d'habitat (IX<sup>e</sup>–XIII<sup>e</sup> siècle)', in *Autour du 'village': Établissement humains, finages et communautés rurales entre Seine et Rhin (IV<sup>e</sup>–XIII<sup>e</sup> siècles): Actes du colloque international de Louvain-la-Neuve, 16-17 mai 2003*, ed. by Jean-Marie Yante and Anne-Marie Bultot-Verleysen, Textes, études, congrès, 25 (Louvain-la-Neuve: Institut d'études médiévales, Université catholique de Louvain), pp. 1–24
- Lauwers, Michel, and Laurent Ripart. 2007. 'Représentation et gestion de l'espace dans l'Occident médiéval (V<sup>e</sup>–XIII<sup>e</sup> siècle)', in *Rome et l'État moderne européen*, ed. by Jean-Philippe Genet, Collection de l'École française de Rome, 377 (Rome: École française de Rome), pp. 115–71
- Le Coq, Aurélien. 2012. 'La trajectoire des Guigues d'Albon: Réseaux et lieux de pouvoir, X<sup>e</sup>–XII<sup>e</sup> siècle', *Florilegium*, 29: 201–27
- Le Coq, Aurélien. 2015. 'Hugues de Châteauneuf, évêque de Grenoble (1080–1132): Réforme grégorienne et pouvoir épiscopal entre Rhône et Alpes' (unpublished doctoral dissertation, University of Paris-East)
- Le Jan, Régine (ed.). 2007. *Construction de l'espace au Moyen Âge: Pratiques et représentations: XXXVII<sup>e</sup> Congrès de la SHMES (Mulhouse, 2-4 juin 2006)*, Histoire ancienne et médiévale, 96 (Paris: Publications de la Sorbonne)
- Lécrivain, Philippe. 2017. 'Bulletin d'histoire des idées médiévales', *Recherches de Science Religieuse*, 105: 307–27
- López Pérez, María Dolores, Karen Álvaro Rueda, and Esther Travé Allepuz. 2016. 'Rock-Cut Cemeteries and Settlement Processes at the Upper Arlanza Basin (Burgos, Spain): A Late Antique and Early Medieval Landscape Analysis', *Zephyrus*, 78: 173–91
- Madeline, Fanny. 2014. *Les Plantagenêts et leur empire: Construire un territoire politique*, Collection 'Histoire' (Rennes: Presses Universitaires de Rennes)
- Mallorquí, Elvis. 2011. *Parròquia i societat rural al bisbat de Girona, segles XIII–XIV*, Estudis, 59 (Barcelona: Fundació Noguera)
- Marques, André Evangelista. 2012. 'Paisagem e povoamento: Da representação documental à materialidade do espaço no território da diocese de Braga (séculos IX–XI): Ensaio metodológico' (unpublished doctoral dissertation, University of Porto)
- Mazel, Florian. 2017. 'L'Église, la cité et la modernité', *Annales — Histoire, Sciences Sociales* 72: 109–20
- Méhu, Didier. 2001. 'Chronique', *Revue historique*, 620: 1083–88
- Merdignac, Bernard. 2009. *Le fait religieux: Une approche de la chrétienté médiévale*, Didact Histoire (Rennes: Presses Universitaires de Rennes)
- Mériaux, Charles. 2008. review of Zadora-Rio 2008, *Revue du Nord*, 378: 187–92
- Mériaux, Charles. 2014. 'Encadrement des fidèles et pratiques religieuses (VI<sup>e</sup>–XI<sup>e</sup> siècle)', in *Histoire du christianisme en France*, ed. by Alain Tallon and Catherine Vincent, Collection U: Histoire (Paris: Colin), pp. 61–77
- Morsel, Joseph. 2004. *L'aristocratie médiévale: La domination sociale en Occident (V<sup>e</sup>–XV<sup>e</sup> siècle)*, Collection U: Histoire (Paris: Colin)
- Morsel, Joseph. 2009. 'Die Ausbildung der Einwohnerschaften im Mittelalter: Die Verräumlichung des Sozialen als Grundmerkmal der historischen Entwicklung im Mittelalter', *Historische Anthropologie*, 17: 202–21
- Mouillebouche, Hervé. 2009. 'Cercles de paix, cimetières et châteaux en Bourgogne', in *Ex animo: Mélanges d'histoire médiévale offerts à Michel Bur par ses élèves à l'occasion de son 75<sup>e</sup> anniversaire*, ed. by Patrick Corbet and Jackie Lusse (Reims: Guéniot), pp. 73–138
- Mouillebouche, Hervé (ed.). 2012. *Châteaux et Prieurés: Actes du premier colloque de Bellecroix (Chagny), 15-16 octobre 2011* (Chagny: Centre de castellologie de Bourgogne)

- Nagy, Piroska. 2005. 'La notion de *Christianitas* et la spatialisation du sacré au X<sup>e</sup> siècle: Un sermon d'Abbon de Saint-Germain', *Médiévales: Langues, textes, histoire*, 49: 121–40
- Neyrinck, Axelle. 2014. 'La formation d'un espace sacré à Paris sous Louis VII et Philippe Auguste: Cimetière des Innocents, communauté parisienne et exclusion des juifs', *Circé. Histories, cultures & sociétés*, 4 <<http://www.revue-circe.uvsq.fr/la-formation-dun-espace-sacre-a-paris-sous-louis-vii-et-philippe-auguste-cimetiere-des-innocents-communaute-parisienne-et-exclusion-des-juifs/>> [accessed 18 January 2018]
- Niblaeus, Erik Gunnar. 2010. 'German Influence on Religious Practice in Scandinavia, c. 1050-1150' (unpublished doctoral dissertation, King's College London)
- Nicolier, Anelise. 2015. 'La construction d'un paysage monumental religieux en Brionnais à l'époque romane' (unpublished doctoral dissertation, Lumière University Lyon 2)
- Nissen-Jaubert, Anne. 2012. 'L'espace rural', in *Manuel d'archéologie médiévale et moderne*, by Joëlle Burnouf and others, Collection U: Histoire, 2nd edn (Paris: Colin), pp. 129–89
- Noizet, Hélène. 2012. 'De l'usage de l'espace en Histoire médiévale', *Ménestrel: Médiévistes sur le net: Sources, travaux et références en ligne* <<http://www.menestrel.fr/spip.php?rubrique1028>> [accessed 18 January 2018]
- Papin, Pierre and others. 2015. 'Contribution à la connaissance de la topographie d'un centre paroissial en milieu rural: Le cas de Joué-lès-Tours (Indre-et-Loire)', *Revue archéologique du Centre de la France*, 54 <<http://racf.revues.org/2284>> [accessed 3 May 2018]
- Pérez-Embid, Javier. 2013. review of Iogna-Prat 2006, *Erebea. Revista de Humanidades y Ciencias Sociales*, 3: 429–84
- Perreaux, Nicolas. 2016. 'Chronologie, diffusion et environnement des villae dans l'Europe médiévale (VII<sup>e</sup>–XIII<sup>e</sup> siècles): Recherches sur les corpus diplomatiques numérisés', *Bulletin du centre d'études médiévales d'Auxerre*, Hors-série 10 <<http://cem.revues.org/14476>> [accessed 1 May 2018]
- Pichot, Daniel. 2011. review of Zadora-Rio 2008, *Histoire & Sociétés Rurales*, 35: 151–277
- Portat, Émilie. 2006. review of Lauwers 2005, *Médiévales: Langues, Textes, Histoire*, 50: 186–88
- Provero, Luigi. 2007. 'Parrocchie e comunità di villaggio in Piemonte (XII–XIII secolo)', in *Religione nelle campagne*, ed. by Mariacarla Rossi, Quaderni di storia religiosa, 14 (Verona: Cierre), pp. 33–60
- Rust, Leandro Durarte. 2010. "'*Columas vivas de São Pedro*": Concílios, temporalidades e reforma na história institucional do Papado medieval (1046–1215)' (unpublished doctoral dissertation, Fluminense Federal University)
- Savy, Pierre. 2008. review of Lauwers 2005, *Annales — Histoire, Sciences Sociales* 63: 413–15
- Schneider, Laurent. 2010. 'De l'archéologie du monument chrétien à l'archéologie des lieux de culte: Propos d'introduction et repères historiographiques', *Archéologie du Midi médiéval*, 28: 131–45
- Sère, Bénédicte. 2010. review of Merdrignac 2009, *Le Moyen Age*, 116: 468
- Théry, Julien (ed.). 2011. *Lieux sacrés et espace ecclésial (IX<sup>e</sup>–XV<sup>e</sup> siècle)*, Cahiers de Fanjeaux, 46 (Toulouse: Privat)
- Trouche-Marty, Cédric. 2015. 'Forts villageois ecclésiiaux et églises fortes dans l'Albigeois des XIV<sup>e</sup> et XV<sup>e</sup> siècles', *Archéologie tarnaise: Bulletin des associations archéologiques du Tarn*, 17
- Wagner, Anne. 2012. review of Mouillebouche 2009, *Revue historique*, 662: 509–10
- Zadora-Rio, Élisabeth. 2005. 'Territoires paroissiaux et construction de l'espace vernaculaire', *Médiévales: Langues, textes, histoire*, 49: 105–20
- Zadora-Rio, Élisabeth (ed.). 2008. *Des paroisses de Touraine aux communes d'Indre-et-Loire: La formation des territoires*, 34<sup>e</sup> supplément à la Revue archéologique du Centre de la France (Tours: FERACF)
- アリエス, フィリップ. 1990. 『図説 死の文化史－ひとは死をどのように生きたか－』福井憲彦訳 (日本エディタースクール出版部)
- 城戸照子. 1995. 「インカステラメント・集村化・都市」江川温, 服部良久編著『西欧中世史』(中), 「成長と飽和」(MINERVA 西洋史ライブラリー), (ミネルヴァ書房) 所収, 129–50頁
- 杉崎泰一郎. 2015. 「修道院の歴史－聖アントニオスからイエズス会まで－」(創元世界史ライブラリー), (創元社)
- 向井伸哉. 2015. 「フランス学界における空間分析について－中世史家の視角から－」(『建築雑誌』No. 1671)

27頁

ユベール, エチエンス. 2010. 「中世西欧地中海沿岸地方の農村部における城と定住」堀越宏一訳, 小島道裕編『武士と騎士－日欧比較中近世史の研究－』(思文閣出版)所収, 186-200頁

[付記]

インエクレスシアメント論について, わが国でいち早く注目されたのは, 早稲田大学の堀越宏一先生である。先生からの研究的刺激が, 本稿執筆の動機となった。また本稿の発表に先行し, 西洋中世学会第10回大会のポスターセッションにて, 「インエクレスシアメント理論－その概要と研究史的位置付け－」と題する報告をおこなった(東洋大学, 2018年6月23日)。報告は来訪者に恵まれ, 多数の建設的助言を頂戴した。そして報告後にも, 書状にてコメントをいただいた。この場を借りて御礼申し上げたい。

なお本稿は, 2017年度中京大学特定研究助成(個人研究)による成果の一部である。

